



姿川中学校だより

第1号

令和2年4月23日

発行責任者 田中芳浩



【令和2年度 学校スローガン】未来に向け、自主・垂範・創造 そして思いやり

「姿川中学校」ホームページもぜひご覧ください。上記QRコードをご活用ください。

陽春の候

令和2年度がスタートしました。今年度も、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月より臨時休業となっていたこともあり、4月8日の始業式を生徒たちは楽しみに迎えたことと思います。しかし、感染拡大は収まらず国より7都府県を対象に緊急事態宣言が出され、また、その対象が全国となり、臨時休業が5月10日まで延長されることとなりました。とにかく、一日も早い収束と通常の学校生活が戻ることを祈るばかりです。

このような状況での新年度のスタートとなり、様々な学校行事も延期や縮小、または中止せざるを得なくなりますが、保護者の皆様、そして地域の皆様には、変わらぬ本校教育へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

新任式・始業式 4/8

校内テレビ放送による新任式・始業式となりました。昨年度末に15名の教職員が転退職となり、新たに16名の教職員を迎えました。

始業式においては、今年度のスローガン具体目標（生徒指標）について話しました。

「未来に向け、自主・垂範・創造 そして思いやり」

これから生徒の皆さんが迎える10年後・20年後の社会は、様々な技術革新により、大きく変化していることが想像され、そうした社会で生活する上で、是非とも身に付けておいて欲しいものを掲げました。

自主：自ら学習に、係活動に、部活動に積極的に取り組もう。

垂範：模範や手本を見せるということ。同級生に、下級生に、地域の人に範を示そう。

創造：課題を把握し、見通しをもって、様々な視点から、よく考えて、答えを導き出そう。

学習だけでなく、物事をしっかりと考えて、ふさわしい答えを出そう。

思いやり：どんなに社会が豊かで便利になっても、欠かせない物。相手の心を温かくし、自分の心を豊かに。優しさ、思いやりのあふれる学校にしていこう。

入学式 4/9

234名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、新入生の皆さんと、教職員のみによる入学式となりました。保護者の皆様には、ご理解、ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。教職員一同、お子様一人一人が健やかに成長できるよう教育し、その成長を支援してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



生徒数及び学級数

※生徒数 734名 【1年生：234名、2年生：255名、3年生：245名】

学級数 25学級 【1年生：7学級、2年生：8学級、3年生：7学級、特別支援：3学級（知的：2、自・情：1）】

令和2年度 学校経営について

学 校 教 育 目 標		
学ぶ心	豊かな心	助け合う心

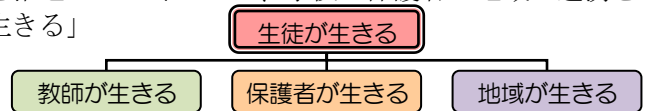
目指す学校像	目指す生徒像	目指す教師像
・文武両道にたけ 活気にあふれる学校 ・地域に根ざした学校 (地域とともにある学校)	・目標に向かって 意欲的に取り組む生徒 ・思いやりのある生徒	・愛と情熱をもって 生徒と向き合う教師 ・使命感があり 自ら範を示す教師

【学校経営の理念】 一生徒が生きる— これからの社会を生き抜く生徒一人一人の確かな成長のためには、学習がよく分かる喜び、自分の役割が分かり居がいのある喜び、友達や先生と心が通い合う喜びを味わわせること、さらに学んだことをもとに課題を解決する力や創造する力を身につけさせることが大切であると考えます。そのためには、本校の伝統と校風を受け継ぎつつ、全ての教職員が組織の一員としての自覚を持ち、個々の能力を発揮するとともに、互いに研鑽し合い、同一歩調で、よりよい指導を行っていくことが不可欠であります。また、保護者・地域の方々にとっても、学校が安心感のもてる場所であるとともに、学校に積極的に関わっていただくことで、保護者・地域の方々が持つ力を十分に発揮できる場であることが必要です。そこで、「生徒が生きる」ための教育活動を推進していくために、学校・保護者・地域の連携を強化し、「教師が生きる」「保護者が生きる」「地域が生きる」

学校づくりを目指します。

【今年度の重点（学校運営）】

- ① 帰属意識や規範意識を高め、互いが協力し合い、思いやりと居がいのある学級集団を育成する。
- ② 生徒の自主的・主体的な活動を助長し、自己肯定感や自己有用感を育てる活動を推進する。
- ③ 「努力を認める」「達成状況を褒める」「次に向けて励ます」（認めて・褒めて・励まして）の3指導を実践する。
- ④ 新学習指導要領の移行期間における対応と教員の授業力向上に努める。（知的好奇心をあおる魅力ある授業展開の工夫）
- ⑤ これからの社会を生き抜く生徒が、様々な課題と積極的に向き合い、課題に対し見通しをもって考え、他者と協働し解を導き出す力（創造する力）を育成する。



生徒の皆さんへ <臨時休業：5月10日まで延長>

～ 不要不急の外出を控えましょう（Stay at home!）～

緊急事態宣言の区域が、7都府県にとどまることなく、感染者が多い都市部から地方への流れが生まれることを避けなくてはならないという観点から、日本全国に拡大されました。それに伴い、宇都宮市では、4月22日までとなっていた小中学校の臨時休業が、5月10日までに延長されました。

生徒の皆さんにとって、3月から続く2か月以上となる臨時休業で、毎日が家庭での生活となり、辛い思い・不安な思いをしている人もいるのではないかと思います。体調が思わしくないとか、何か不安な事や心配な事があれば、担任の先生等に連絡してください。

また、感染がどんどん拡大し国内の感染者数が1万人を超えました。芸能人やスポーツ関係者で入院されている方の映像がTVで流れますが、本当に辛そうです。また、入院患者さんを支える医療従事者の皆さんは、厳しさが増す状況の中でも必死で治療にあたってくれています。そうした方々への敬意と感謝の気持ちを常に持ち、忘れないようにしましょう。

さて、こうした中、私たちにできることは、何でしょうか？ 不要不急の外出を避けることです。そうした行動が自分自身や愛する家族の健康と命を守るとともに、医療現場で働く方々の負担を減らすことにつながります。一日も早く日常生活を戻すためにも、周囲の全ての人たちのことを考え、思いやって、「Stay at home!」不要不急の外出を控えましょう。

宇都宮市では、社会総ぐるみによる人づくりに向けた機運醸成を図るため社会全体が一体となった人づくりの取組を促す合言葉を設けています。保護者の皆さん、地域の皆さんのご協力をお願いいたします。



社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」

～大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます～

宇都宮市・宇都宮市教育委員会